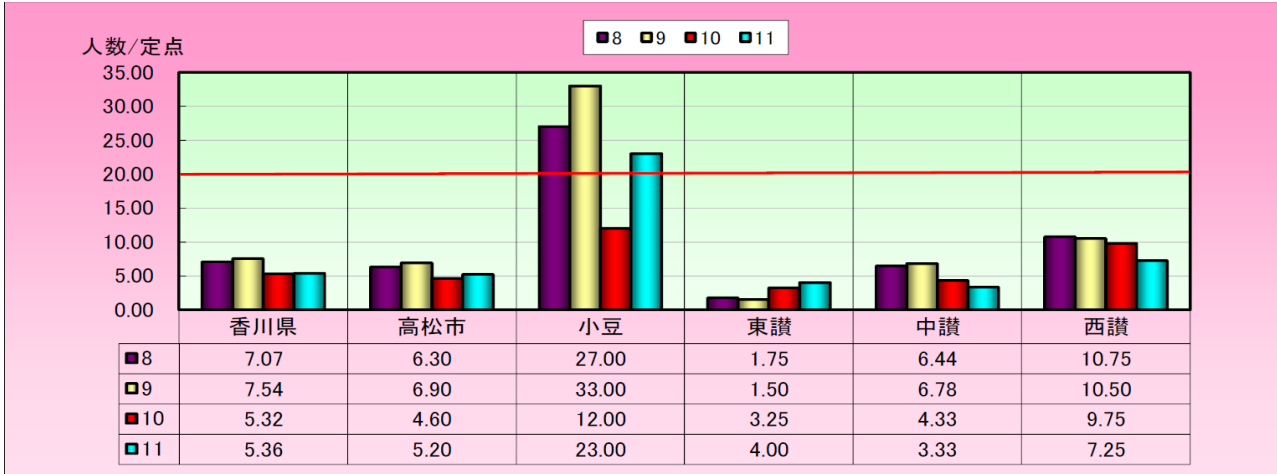


感染性胃腸炎に気をつけましょう！

ウイルス性の感染性胃腸炎が流行中です。十分な感染対策を行ってください。

○保健所別定点当たり患者数（最近4週の発生状況）

[令和4年 第8週（2月21日～2月27日） ～ 令和4年 第11週（3月14日～3月20日）]



●ウイルス性の感染性胃腸炎とは？

「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「アデノウイルス」などに感染して起こる胃腸炎です。感染力が強いので、保育所・幼稚園、学校、各種福祉施設などで流行、集団発生することがあります。

●症状は？

24～48時間の潜伏期間を経て、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、37℃台の発熱等が見られます。症状の続く期間は、原因となるウイルスによって異なりますが、ノロウイルスの場合、これらの症状が1～2日続いた後、治癒します。抵抗力の弱い高齢者や乳幼児は重症化することもあります。また、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。

●感染経路は？

- ①発病者の嘔吐物や便に触れた手指を介してウイルスが口に入ることにより感染します。
- ②ウイルスに汚染された食品（カキなどの二枚貝等）を十分に加熱せずに食べることにより感染します。

感染予防のポイント



◆最も有効な対策は手洗いです！

トイレの後や調理・食事の前には、石けんをつけて30秒間手洗いをしましょう。これを2回繰り返すことで、手についたウイルスのほとんどを落とすことができます。

洗ったあとは、タオルの共用は避け、できればペーパータオルで拭きましょう。

◆部屋やトイレで吐いた場合、必ずマスクと手袋をして処理しましょう。

- ①ウイルスが飛び散らないように、吐物を新聞などですばやく覆う。
- ②吐物をふき取った後、次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。
- ③最後に石けんで十分に手を洗い、換気する。

◆カキなどの二枚貝は十分に加熱して食べましょう。